

2019年(令和元年)5月28日(火曜日)

おはよう

環境問題 現場で実践

かれんな白い花を咲かせる水草のミシマバイカモを守るようと、三島市中心部を流れる源兵衛川や三島梅花藻の里で、十五年ほど前からボランティアでほぼ毎日清掃活動を続けている。

三島市出身。電気機器メーカー勤務時代は、環境マネジメントシステムの国際規格の取得などに尽力した。定年退職後、三島市のNPO法人「グラウンドワーク三島」主催の環境市民ガイドの養成講座で学び、清掃活動をするようになった。「現場で実践しないといけないと思った」

清掃活動では、ミシマバイカモが光合成できるようにヘドロなどをほうきで丹念に取り除く。源兵衛川では、ホタルが生息しやすい環境整備にも力を注ぐ。

源兵衛川や三島梅花藻の里は近年、美しい水辺環境で注目を集め、観光客が増えている。「『三島は水がきれいで良い所だね』と褒めてもらえるのがやりがい」とほほ笑む。三島市南本町。(佐久間博康)

◆ミシマバイカモの
保全活動など続ける



山口 東司さん(77)＝三島市